

38人の教官が反乱

教育大 文学部

無視移転をめぐって軒中の東京教育大文学部教授会は、ロッキンアウツがけないかぎり授業再開しないとして、すでに授業を再開している理、教育学部と対立しているが、九日、文学部教授会の三分の一にあたる十八人の教官が教授会決定を無視して、米道から独自の授業を再開することを決めた。「授業を再開する以上、これに反するのは教育の義務だ」というのが理由。反乱グループの出現で、同大は米道員々から大きな混乱を誘発しそうだ。

教授会決定を無視し

来週に授業再開

「学生が望む以上は当然」

教育大では、二月末に運動隊を導入して対抗を解除して、理学部が学生から、新約書、をとり、教育学部も正門で学生を、検問して授業を再開しているが、文学部だけは「現在のようないきなり授業を再開してはならない」として、ロッキンアウツ排除を大学側に要求し、他学部の一般教育科目の授業をポイントするとを決定した。

これに対して、九日、独自の授業を再開する方針を発表した。

入構に言い及ぶには、学長代行が安全と認められた学生に行き許可証を発行するという理、教育学部のは教授会に対するはなはだしき背信行為だ。一種の煽動指導としては認められても、正規の講義としてはどうも認められない。卒業単位として認定できないもので、結果的に学生をたぶらさずものだ。近く教授会を聞いて、これらの教官の背信行為を厳重に審査するとともに、学生にも謝罪を求めたいよう、返す正式の公式をし

江渡記明学部長は「教授会で決めたカリキュラムを一部の教官だけで勝手に変えて授業をするというのは教授会に対するはなはだしき背信行為だ。一種の煽動指導としては認められても、正規の講義としてはどうも認められない。卒業単位として認定できないもので、結果的に学生をたぶらさずものだ。近く教授会を聞いて、これらの教官の背信行為を厳重に審査するとともに、学生にも謝罪を求めたいよう、返す正式の公式をし

文学部十八教室のうち、この方式に賛成する教官がひとりもない。西洋史、社会学など四教室がある。これについては別個に非常勤講師を、採用して補充する考え

に、学内で授業を再開するとい

作中の違法な訴訟で、勝てる目算がある」と語っている。これら、反乱グループの出現で、文学部は米道員々から大きな混乱を誘発しそうだ。

先生が大学へデモ

「大学立法を利用する無視移転反対」「学生の人権を無視した真明ロッキンアウツ反対」一紙のデモ隊をめぐって学内が真二つの東京教育大で、十二日午後、ついに移転反対派の教育約八十人が文京区の大塚公園に集結、そこから約一時間離れた塚キャンパスへデモをかけた。

参加した入行勇助男、里野慎一の新田文学部長をはじめ家永三郎、和歌森太郎教授ら高名教授も、声をそろえて「ツツバハントライ」「学問の自由を奪うロッキンアウツハンクタイ」。いくぶんのデモもあって小さかった声も最後はすなり野太い声に変わった。

それにしても、大学教授が自分の大学へデモをかける深い、新橋、アカデミックなふんい気はどきと震しても屈当たらぬ東教大だった。

体育学部もスト 東教大 東京教育大体育学部は、教授会に大学立法反対声明を出すよう要求して十三日から二週間のストにはいった。